

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会報 ひまわり

第 29 号



令和 4 年度（第 1 回）岩手県在宅保健活動者連絡協議会役員会（5 月 18 日）

後列左から 小野寺幹事、佐々木みや子幹事、高橋幹事、藤原幹事、植田幹事、小原幹事

前列左から 辻副会長、佐々木順子会長、内記副会長（中里幹事は欠席）

令和 4 年 5 月に開催を予定しておりました令和 4 年度岩手県在宅保健活動者連絡協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催となりました。

総会では令和 3 年度事業報告及び令和 4 年度事業計画が承認されたほか、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長を 4 期 8 年務め、協議会の発展に尽力された阿部会長が退任されました。また、提案通り 10 名の代表幹事が選出されました。

その後、5 月 18 日の役員会において、新会長は保健師代表幹事の佐々木順子さん、新副会長は、栄養士等代表の辻恵子さんと歯科衛生士代表の内記敬子さんに決定しました。

新会長あいさつ

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会長 佐々木 順子

令和 4 年度の総会と、その後に開催された役員会において、会長をお引き受けすることになりました。私は、病院勤務からスタートし、出産を機に市保健師として地域、福祉活動を経て、退職。その 5 年後に東日本大震災で自宅が全壊し、避難生活を 3 年経験した後、沿岸から内陸に移住しております。

さて、本協議会は、在宅保健師、助産師、（准）看護師、（管理）栄養士、歯科衛生士の 5 職種で構成された会です。丸 2 年以上にも及ぶコロナ禍の中、中止した活動もありましたが、県内 6 地区で、健康づくり・介護予防教室や、新型コロナワクチンの問診・状態観察、特定健診受診に係る支援を行ってきました。今年度も支援希望があった市町村への支援と、会員の創意工夫した特色ある福祉活動を行います。

目まぐるしく変化していく時代ではありますが、これまで培ってきた知識、経験＝技量に自信をもって「自分に無理なく、楽しんで」続けていけるような、また、多方面から必要とされる 5 職種からなる「ひまわり会」にしていきたいと思います。

なお、本協議会は、会員の高齢化と会員数が減少しております。ぜひ、先輩や後輩へ「ひと声」かけていただき、会員加入・増加を図っていきましょう。

本協議会の事業運営にあたっては、岩手県国民健康保険団体連合会事務局より御支援いただきながら、会員、役員の皆様と連携し共に力を合わせていきましょう。



事務局あいさつ

岩手県国民健康保険団体連合会

総務事業部長兼保健介護課長 鈴木 敬之

本協議会の皆さま方には、市町村への支援や地域の健康づくりをはじめ、国保連合会の保健事業の推進につきまして、多大な御支援、御協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

御承知のとおり、新型コロナウイルス感染症は、その流行が収まらないことから、感染拡大防止のため、本協議会の総会は書面開催といたしました。また、研修会については、新型コロナウイルス感染状況を見ながら 7 月の開催を予定しております。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行が始まり 2 年余りが経過しました。当初は感染対策として「不要不急の外出自粛」「人が多く集まる機会を避ける」等が言われておりましたが、これらが長期化することは世代に関わらず心身機能の低下を招くことが懸念されます。

国においては、感染症対策を講じた上で「新たな生活様式」に対応した予防・健康づくり、重症化予防の推進、ポピュレーションアプローチの強化、健康無関心層などへの受診に向けた取り組み強化等の保健事業を推進しています。

そのような中、本協議会が各地区で実施しているサロン活動や特定健診事業支援等は、地域で暮らす住民の健康づくりに大変重要な役割を担っていると考えております。

現在、新型コロナウイルス感染症の流行は終息時期が見通せない難しい局面となっておりますが、これまで培ってきた豊富な知識と経験のもと、今後とも保健事業の推進にお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

退任あいさつ

「生涯現役。これからも元気に集いましょう」

岩手県在宅保健活動者連絡協議会 前会長 阿部 恵美子

第 6 波の COVID-19 禍ということで、本年度も総会は書面決議で御了承いただきました。会員の皆様、御尽力いただいた事務局の皆様ありがとうございます。

今、村井会長から受けたバトンを新役員の皆様に繋ぐことができホッとしております。特に、この 3 年程はコロナ禍で思うように集い活動することはできませんでしたが、本会で学んだ「気軽な通いの場づくり」がフレイル対策となり大いに高齢者の健康づくりに寄与していることを実感しております。

私は保健師として半世紀 50 年を過ごしました。生涯現役をどのような世情下であっても、老いとともにフレイルと上手にお

付き合いし「人生 100 年時代の健康づくり」を尊きは人の生命 人の心で「きょうよう・きょういく」を増やすことを基本に目指したいものです。

最後に事務局の皆様が本会発展を第一に考えての変わらぬ御指導に感謝申し上げます、更なる応援をお願い申し上げるとともに、本会の飛躍と会員、関係者各位の益々の御健勝を心よりお祈り申し上げ退任の挨拶といたします。8 年間ありがとうございました。

【事務局より】

阿部さんには、4 期 8 年にわたり、会長を務めていただきました。

ありがとうございました。



上写真：コロナ前の令和元年度総会、皆様の前であいさつしました

右写真：東北地方在宅保健師等連絡会議では、佐々木順子新会長（左）と踊りました



令和 4 年度 総会

令和 4 年度総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と出席者の安全確保を図るため書面開催とし、すべての事項について承認いただきましたので、報告いたします

書面議決結果 (会員 82 名中、61 名返送)

報告事項

※会員数は 4/15 時点

報告第 1 号：承認 61 名 不承認 0 名

議決事項

議案第 1 号：承認 61 名 不承認 0 名

議案第 2 号：承認 61 名 不承認 0 名

◆報告事項

報告第 1 号

「令和 3 年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業報告について」

<国保連合会保健事業への協力>

- ・岩手県国保連保健事業推進会議
会長出席(R3.5.26) (R3.9.22)

<岩手県事業への協力>

- ・地域づくりアドバイザーの派遣と協力
(R3.4~R4.3)
- ・岩手県介護予防市町村支援委員会
会長出席 (R4.1.20)

<会議等への参加>

- ・東北地方在宅保健師等会連絡会議
役員 6 名出席 (R3.12.3)

<その他、協議会に係る保健・福祉活動等>

- ・「岩手県在宅保健活動者連絡協議会
会員募集案内」送付 (R4.1.4)

<地区ブロック活動>

○盛岡地区

- ・介護予防教室(厨川活動センター等 3 ケ所：
8 回)：健康チェック、いきいき 100 歳体操
等
- ・国保連職員健診事後指導 (2 回)
- ・定例会 (1 回)、通信発行 (3 回)

○花巻地区

- ・サロン活動(ニコニコサロン等 3 ケ所：各月 1~2
回)：健康相談等
- ・通いの場支援(太田公民館等 4 ケ所：各月 2
~4 回)：元気でまっせ体操会、健康相談会等
- ・情報交換会及び定例会 (2 回)

○久慈地区

- ・定期オレンジカフェ(8 回)：健康チェック、
傾聴活動、押し花 等
- ・出前保健室(保育園、各町内会公民館)、出前
オレンジカフェ、サロン(いきいきサロン等
2 ケ所：延べ 13 回)：健康相談、健康チェッ
ク、傾聴活動、押し花づくり 等
- ・水泳大会救護(8 月)：救護活動、健康チェッ
ク
- ・講演会(12 月)：「住み慣れた地域で最後ま
で暮らすために」

○二戸地区

- ・健診実施の支援(問診)

○沿岸地区

- ・釜石市特定健診支援(問診業務)
- ・釜石市新型コロナワクチン接種(問診及び接
種業務)
- ・気仙地区新型コロナワクチン接種(問診及び
接種業務)
- ・気仙地区乳幼児健診支援

○県南地区

- ・サロン（一関市花泉等 4 ケ所：33 回）：認知症予防、コロナ予防、口腔歯科等
- ・百歳体操（一関市真柴等 3 ケ所：110 回）
- ・ホームヨーガ（一関シニアプラザ等 2 ケ所：88 回）：ヨーガで健康づくり
- ・会員交流（6 回）：研修・意見交換等
- ・県南ひまわり会通信の発行（6 回）

◆議決事項

議案第 1 号

「令和 4 年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業計画について」

令和 4 年度事業計画

I 基本方針

市町村における保健・福祉活動の重要性を認識し、住民の健康づくりを支援するため、豊富な知識と経験を活かし、地域の保健・福祉活動に寄与するとともに、会員の資質向上と親睦を図るため下記の事項を推進する。

II 目標

1. 高齢者の健康づくりについて、介護予防の面から支援する。
2. 地域の食育活動をととし、若い世代からのメタボリックシンドローム対策につなげる。
3. 保健推進委員や食生活改善推進員等の住民組織活動を協力・支援し、地域保健活動のさらなる活性化につなげる。

III 具体的実施事項

1. 役員会等の開催
 - ・役員会 年 2 回（11 月、3 月）
2. 総会の開催
 - ・総会の開催 年 1 回（5 月）
 - ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催

3. 研修会の開催

- ・研修会の開催 年 1 回
- ※開催時期及び方法は新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら検討

4. 国保連合会保健事業への協力

- ・岩手県脳卒中予防県民大会への協力
- ・岩手県国保連保健事業推進会議への参画
- ・岩手県国民健康保険フォーラムへの後援

5. 市町村及び社会福祉協議会等の保健事業への協力

6. 岩手県事業への協力

- ・地域づくりによる介護予防推進支援事業に係るアドバイザーの推薦及び事業の協力
- ・岩手県介護予防市町村支援委員会への参画

7. 会報「ひまわり」の発行

- ・年 1 回の発行（6 月）

8. 会議・研修等への参加

- ・東北地方在宅保健師等会連絡会議
- ・都道府県在宅保健師等会連絡会

9. 会員相互の情報交換

- ・地区ブロック単位の電話連絡網の活用

10. その他、協議会が係わる保健、福祉活動等

- ・新会員加入促進に向けた取り組み

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、具体的実施事項の事業内容が変更する場合があります



議案第 2 号

「役員改選について」

(任期：令和 6 年度総会まで)

○幹事

	役職名	氏 名	職 名
職種代表幹事	保 健 師	佐々木 順 子	保健師
	看護師等	小 原 ナツ子	准看護師
	栄養士等	辻 恵 子	管理栄養士
	歯科衛生士	内 記 敬 子	歯科衛生士
地区代表幹事	盛岡地区	佐々木 みや子	保健師
	花巻地区	高 橋 喜久子	管理栄養士
	久慈地区	藤 原 みよ子	保健師
	二戸地区	中 里 早 苗	保健師
	沿岸地区	植 田 幸 子	保健師
	県南地区	小野寺 ヨシ子	保健師

総会での幹事承認を受け、5 月 18 日に新幹事による役員会を開催。新会長、副会長が決定しました。

会長 佐々木 順子

副会長 辻 恵子

内記 敬子

2 年間、よろしくお願いいたします。

<花巻地区> 会員 10 名

- ・元気出まっせ体操等（高木小路公民館、江曾自治公民館、好地会館、太田公民館：月 2～4 回）
- ・介護施設への口腔ケア支援
- ・ニコニコサロン（太田公民館：月 1 回）
- ・情報交換会（年 6 回）

<久慈地区> 会員 7 名

- ・オレンジカフェ・こはくのまちの保健室（定期及び出前）
- ・久慈市福祉まつり支援
- ・ほのぼの給食会
- ・救護係依頼時スタッフ派遣

<二戸地区> 会員 8 名

- ・一戸町特定健診実施に係る支援（延べ 16 日間）
 - ・会員交流会、打ち合わせ会（会場：二戸市内）
- ※その他、管内自治体等の要請に随時対応

<沿岸地区> 会員 20 名

- ・釜石市特定健診受診者の問診
- ・釜石市新型コロナワクチン集団接種（問診、状態観察等）
- ・その他イベント等の参加者の救護活動

<県南地区> 会員 16 名

- ・総会及びお花見会（4/30）
- ・お手玉作り（6/25）
- ・漢字オセロゲーム作り（8/27）
- ・後輩との交流会（10/29）
- ・調理をして楽しくクリスマス会（12/24）
- ・反省と計画、回想法（2/25）

令和 4 年度地区活動予定

現時点での各地区の活動計画は次のとおりです。

<盛岡地区> 会員 21 名

- ・介護予防教室支援（3 地区）（青山和敬荘地域包括支援センター主催）
- ・盛岡市体力運動能力調査救護支援
- ・地区定例会



令和 3 年度 東北地方 在宅保健師等会連絡会議

令和 3 年 12 月 3 日（金）、令和 3 年度東北地方在宅保健師等会連絡会議がリモート開催され、岩手県の会員 5 名を含む 91 名の関係者が参加しました。（囲み内は参加者の感想です）

◆講演 1



「在宅保健師等会における活動について」
国民健康保険中央会
保健事業専門幹 三好 ゆかり 氏

- ・最新情報はとても助かります。
- ・他の地域の活動を聞くことができとても参考になりました。コロナ禍においても活動は工夫でできることが改めてわかりました。

◆報告

都道府県在宅保健師等会全国連絡会について
都道府県在宅保健師等会役員
新潟県在宅保健師の会「燈々会」
会長 安達 ミチ 氏



- ・現状が理解できてよかったです。

◆講演 2

「島の保健室」立ち上げの経緯から感染症流行下での活動状況
新潟県在宅保健師の会「燈々会」
佐渡支部幹事 土屋 貴子 氏

- ・地域に合わせた活動手法として参考となりました。

◆在宅保健師等会の活動報告

「コロナウイルス流行下での活動について」

- ・地域によって工夫していることに感銘しました。

令和 3 年度都道府県在宅 保健師等会全国連絡会報告

令和 3 年度は、資料及び資料解説を録画した DVD の配布という形式で開催となりました。内容は以下のとおりです。

◆講演

「コロナ禍におけるロコモ・フレイル
の現状とその対策」



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
理事長 新井 秀典 氏

「通いの場等における後期高齢者の
質問票を活用した健康支援について」
女子栄養大学
特任教授 津下 一代 氏

◆事例発表

「島の保健室」立ち上げの経緯から
感染症流行下での活動状況
新潟県在宅保健師の会「燈々会」
佐渡支部 代表 土屋 貴子 氏

「災害時における支援及び
活動について」
～平成 30 年 7 月豪雨
（西日本豪雨）災害～
広島県在宅保健福祉活動者の会
「陽だまりの会」
会長 阿川 眞澄 氏

◆報告

「在宅保健師等会の活動の推進に向けて
～都道府県在宅保健師等会に係る調査
結果を踏まえて～」

国民健康保険中央会
保健事業専門幹

三好 ゆかり 氏



会員の声

総会書面決議のはがきに寄せられた近況です

盛岡地区は退会者が多く、どのような対応が必要か考えていきたいと思っております。新型コロナの関係で定例会を開催できないのも原因かと思い、今年度は参加者が少ないかもしれませんが 4 回の開催予定としてみました。(盛岡地区)

今年度もよろしくお願いいたします。
(盛岡地区)

新型コロナでガマンガマンの閉じこもりから抜け、庭の草花にかこまれながら毎日家庭菜園作りに励んでいます。
(盛岡地区)

今年もお世話になる事になりました。よろしくお願いいたします。職員の皆様、役員の皆様ありがとうございます。ご苦労様です。(盛岡地区)

通いの場、新しい保健推進委員 2 人を迎えて住民主体の役割担当を決め、6 年目の新体制(23 人)がスタート、5 月には「血管の健康について知ろう」のテーマでいきいき講座を計画しています。
(花巻地区)

要介護 I です。サービスをいっぱい利用して一人暮らしをしています。(デイサービス、通所リハビリ、訪問マッサージなど)シルバーカーは月 240 円です。
(久慈地区)

R4 年度から、役場で会計年度任用職員として働いています。現場で働くことの楽しさを改めて感じています。
(沿岸地区)

コロナに翻弄された 1 年でしたが、いつものように活動できた所と、自粛した所、それぞれだったと思いますが、感染対策の一番は自己免疫を高める事ではないかと強く感じた 1 年でした。保健活動の原点が問われる 1 年でもあったように感じています。(県南地区)

県南ひまわり会で 2 ヶ月に 1 回交流が楽しみです。4 月のお花見と研修(遊水地)ためになることばかりです。退職する後輩にも声かけて参加を呼びかけようと思います。
★会からの声がけで保健所コロナ対応を続けています。(県南地区)

一日も早くコロナが終息し以前の様な生活に戻りたいですね。(県南地区)

いろいろお世話になってます。なりましたね。コロナ禍で中々思うように集うことはできませんでしたが、この状況とうまくおつきあいをしながら「老化と身体の不調」をお供にし、これからもフレイル対策や自身の健康づくりにつとめていきたいです。応援お願いしますね。皆様のご健勝をお祈りしてます。
(県南地区)

県南支部の集会に久しぶりに参加。なつかしい顔、声…皆さんの近況と活動報告に元気をたくさんたくさんいただき、幸福度 100%になりました。(県南地区)

事務局からのお知らせ

令和 4 年度岩手県在宅保健活動者連絡協議会研修会の開催について

例年 5 月に総会と同時に開催している研修会は、感染予防対策を講じた上で 7 月に開催します。皆様の参加をお待ちしております。

日 時：7 月 20 日（水）13：30～15：50

場 所：「国保会館」

内 容：（1）会員同士の意見交換

（2）講演「新型コロナウイルス感染症対策から見た健康づくりの重要性（仮）」

講師 盛岡市保健所 所長 矢野 亮佑 氏

岩手県国民健康保険フォーラムの開催中止について

例年 8 月に開催している標記フォーラムは、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び出席者の安全確保を図るため、本年度は開催中止となりました。

新会員募集中！ ～地域で一緒に活動してみませんか？～

専門職としての豊かな経験を生かし、地域の健康づくりに取り組んでいます。
保健事業支援に必要な研修や情報提供を行いながら楽しい活動を目指しています。

<入会の要件>

県内に住む在宅の保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士・助産師
（臨時・嘱託で勤務されている方も入会できます）



国保イメージキャラクター
「ハピルスくん」

会員登録状況（令和 4 年 6 月 10 日現在）

会員 82 名（新規加入 10 名）

地区	職種					計
	保健師	看護師・ 准看護師	管理栄養士 ・栄養士	歯科衛生士	助産師	
盛岡地区	9 名	6 名	3 名	3 名	－	21 名
花巻地区	5 名	－	3 名	2 名	－	10 名
久慈地区	1 名	4 名	2 名	－	－	7 名
二戸地区	8 名	－	－	－	－	8 名
沿岸地区	8 名	12 名	－	－	－	20 名
県南地区	6 名	5 名	1 名	3 名	1 名	16 名



担 当 岩手県国民健康保険団体連合会 総務事業部 保健介護課 保健係

住 所 岩手県盛岡市大沢川原 3 丁目 7 番 30 号

TEL 019-623-4324

FAX 019-622-1668